



地域おこし  
協力隊

# 活動状況報告



地域おこし協力隊  
十勝うらほろ  
創生キャンプ担当

つつき  
麻知子

こんにちは、十勝うらほろ創生キャンプ担当のつつきです！

この文章を書いている今日は1月23日(月)、冬のイベント「しゃっこいフェス」が終了した翌日です！

今年はボランティアとして、事前の滑り台作りと当日の運営に参加しました。私が事前の滑り台作りに参加した日は22時まで作業をしており、実行委員会全体としては上浦幌中学校会場とうらほろ森林公園みのり館前駐車場の会場準備を約2週間かけて行い、当日を迎えました。

当日は23名の町内在住の若者に加え、北海道教育大学釧路校の学生の皆さんが運営スタッフとして参加し、CS委員の方や浦幌消防署の方々にもご協力いただきました。そして、上浦幌中学校会場は約20名、みのり館前駐車場会場は約100名のお子さんが参加してくれました。滑り台、カスタムそりレース、浦幌大将決定戦、冬の陣、雪山宝探し、レスキューラリー、

それぞれのコンテンツを皆さん全力で楽しんでいました！

事前準備中のメンバーたちは「今日はそこまでやらなくても良いんじゃないか」と思ってしまうくらい本気で作業をしていました。しかし当日、参加している子ども達も楽しんで会場を走り回ったり滑り台で遊んだりしている様子を見ていて、メンバーたちの想いが子ども達を笑顔にしているような気がして、「やっぱり良いイベントだな」と感じました。



また、当日までの運営の難しさを知っているからこそ、実行委員会のメンバーを筆頭に地域の若者や町外から関わる若者の力は凄いなと思います。この力を大事にしながら、私自身もその一端を担えるよう努めて参りたいと思います！

浦幌町と友好の町絆協定締結



のちよう (岩手県)  
洋野町だより

## 「成長願い種駒打ち込む」



真剣に種駒を打ち込む児童

「宇宙しいたけ植菌体験」は2月2日、宿戸小(清野直美校長・児童61人)で行われました。

「東北復興宇宙ミッション」(一財)ワンアース主催)の取り組みで、2021年に約1カ月間宇宙を旅したシイタケ菌を培養した種駒を使用したシイタケ菌を培養した種駒に挑戦。児童はシイタケ菌を培養した森産業(株)の中村隆司盛岡営業所長から植菌の仕方を教わり、シイタケの成長を願い原木に種駒を打ち込みました。

南莉音奈さん(4年)は「おばあちゃんがなめこ栽培していて植菌の手伝いをしているので、上手に種駒を打ち込めた。おいしいシ

イタケに育ってほしい」と期待を込めました。  
(洋野町役場企画課広聴広報係主任 粒来真晃)



宇宙旅行から帰還したシイタケ菌を培養した種駒